

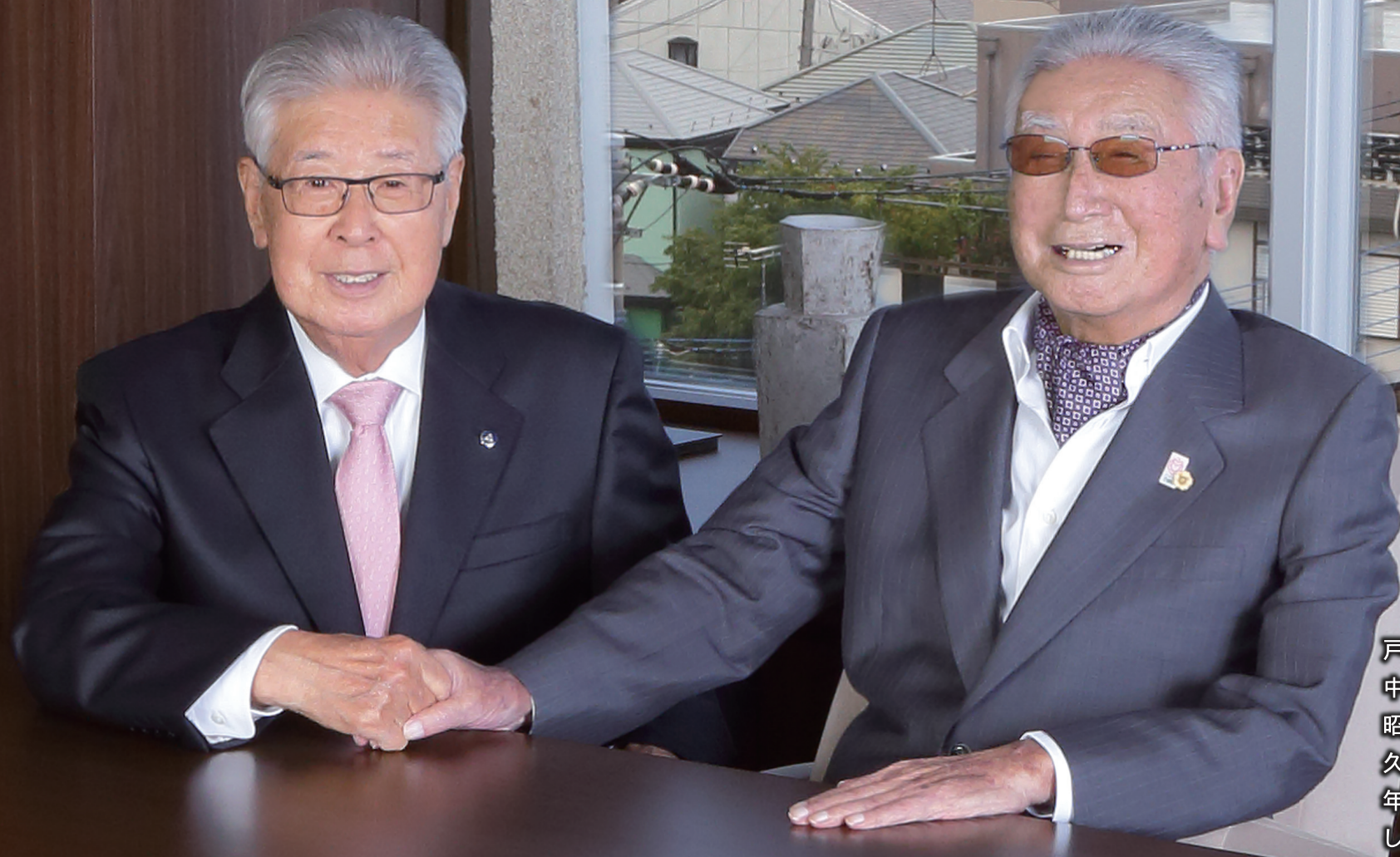
埼玉に、生きる。

埼玉新聞SPECIAL PROJECT 22

記念対談

父の教え「三本杉岩」に誓った固い絆から80余年。地域医療の充実・発展のため中村兄弟がまい進。

北海道から医療の道を志した中村3兄弟は、固い絆のもと、半世紀以上に渡り地域医療にまい進し、3兄弟が築いた中央医科グループは病院数91、職員数5万人超と今や日本の医療界をけん引する巨大医療グループとなった。そして今年8月、3兄弟の次男、中村隆俊氏が会長を務める戸田中央医科グループ(TMG)は昭和37年の開院から創立55周年、自身もきょうの誕生日で卒寿を迎える。また、上尾市の上尾中央総合病院を基幹病院とする上尾中央医科グループ(AMG)の中村秀夫会長(三男)は来年1月に米寿を迎える。医療界の巨星2人がこれまでの歩みとこれからの医療について語った。



戸田中央医科グループ会長
中村 隆俊 なかむら・たかし(写真右)
昭和2年10月25日生まれ。北海道瀬棚郡瀬棚町(現・久遠群せたな町)出身。北海道大学医学部卒。昭和37年8月に戸田中央病院(現・戸田中央総合病院)を開院し、院長に就任。一都四県下に28病院と6介護老人保健施設を有する戸田中央医科グループ(TMG)会長。平成12年、勲四等旭日小綬章授章。平成28年、戸田市名誉市民第一号。平成29年、渋沢栄一賞受賞。

上尾中央医科グループ会長
中村 秀夫 なかむら・ひでお(写真左)
昭和5年1月3日生まれ。東京医科大学卒。昭和39年12月に上尾中央病院(現・上尾中央総合病院)を開院し、院長に就任。一都六県下に27病院と21介護老人保健施設を有する上尾中央医科グループ(AMG)会長。平成9年、警察庁長官表彰協力章受章。平成12年、厚生労働省救急医療功労者。平成14年、勲三等瑞宝章受章。

上尾中央医科グループ(AMG) 中村秀夫 × 戸田中央医科グループ(TMG) 中村隆俊

秀夫 来年1月、私は米寿を迎え、兄はきょう卒寿を迎える。TMGも8月に創立55周年を迎えたんだね。本当におめでとう。今では1日置きに電話で「どうだ戸田さん」「どうだ上尾さん」と話しているんだけど、戸田の兄は頭がシャープで、真面目で、守りがうまい。昔から尊敬しているよ。中央医科グループの職員は全部で5万人超。そのトップに立つのが兄。だから、兄には100歳まで生きてほしいんだ。

隆俊 ありがとう。昭和37年、当時の戸田町に29床の戸田中央病院を開院してから、もう55年の月日が流れたんだ。私たち兄弟3人が独立して、それぞれの病院(長男・故哲夫=板橋中央総合病院、次男・隆俊=戸田中央総合病院、三男・秀夫=上尾中央総合病院)を持つようになってから半世紀以上。この長い歴史を振り返れば、幾多の困難があり、一言では語り尽くせないけど、兄弟が仲良く協力し合い、切磋琢磨してここまで来

られたのは、父・末吉の教え「三本杉岩の誓い」があったからだと思う。

秀夫 そうそう。幼少期、父は北海道の瀬棚海岸の三本杉岩(海面にそびえ立つ高さ約30mの3つの岩で、町のシンボリック的存在)を眺めては、口癖のように言っていたなあ。毛利元就の三本の矢を例に「兄弟3人が力を合わせれば、三本杉岩のように、どんな荒波が押し寄せてきても乗り越えられる」と。父の教えは今でも心に刻まれているよ。だからこそ常に3兄弟で支え合い、兄たちが開院するときは私も協力したんだ。私は末っ子で、兄の言うことは絶対だった。昭和39年、当時の県衛生部長から病院開院の打診があり、兄(隆俊)に相談したときも「上尾に行け」の一言。その年12月に市民病院を引き継ぎ、上尾中央病院としてベッド数11床、職員数16人で開院した。

隆俊 3兄弟が自分の病院を持つにあたって、父は故郷・瀬棚の雑穀商「中村商店」を引き払っ

て、3人の病院の経営を手伝ってくれた。父が中村商店で長年培った経営力で基盤を固めてくれたおかげで、私たちは医療に専念できた。

秀夫 その通り。それが、中央医科グループがここまで発展できた秘訣だと思っている。

隆俊 グループの経営理念「愛し愛される病院」は、板橋中央病院(現・板橋中央総合病院)の開院から問もない昭和35年に考え出されたもの。病院を利用する患者さまはもちろん、地域の開業医の先生方を中心とする地元医師会との連携も重要。だから「地域の方々を愛し、地域の方々にも愛される病院を目指したい」という気持ちをこの理念に込めたんだよね。

戸田中央総合病院の開院当初は、戸田町に救急車がなかった。当院が戸田町救急病院に指定されて救急通報用番号「5311」を受け、職員自らが救急隊員となって活動した。現在も「救急車を断らない」を貫き、救急病院としての役割を果たし

ていることが、今日の発展に導けた一因だと思う。

秀夫 上尾も同じく消防署も救急車もなかったから、兄の板橋中央病院から古い救急車を譲り受けて、職員が運転して対応していた。今では上尾中央総合病院の救急搬送の受け入れは毎月800件以上。開院当時は上尾駅西口が無くて、道路は砂利引きで警察署もなかった。県警本部から大宮警察署警察医を拝命して上尾から桶川、北本と任され、検死・解剖にもよく出向いたなあ。この時に解剖数が多かったんで、警察庁長官賞をいただいた。これからも、地域の急性期医療の基幹病院として医療を支え、地域に貢献していきたいね。

隆俊 そうだね。昨今、医療を取り巻く環境は大きな変革期を迎えている。10年後はさらに厳しい医療経営の時代の波が来ることになると思うけど、それを見据えて、我々中央医科グループはさらなる地域医療の充実・発展に努めていかなければならないね。